

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	儀礼交際用経費	部課名 担当者名	総務企画部総務企画課 小室・富田	課長名 内線	五味智子 2211
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	儀礼交際用経費（02-10-48-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠	儀礼交際用経費支出基準	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	事務事業に係る儀礼的な交際経費の一部を支出することにより、各種団体との関係や連携の円滑化を図るとともに、表意者の負担軽減を図ることを目的とする。				
対象者等	部長級職員、課長級職員、係長級職員				
内容	<p>1 支出できる対象 各部（局）の事務事業に直接かつ密接に関係がある 団体等の主催する会合等における会費、 個人を対象とする慶事、弔事、見舞い 「会費」とは、会議、懇談会、懇親会等における会費、参加費等を言う。</p> <p>2 支出金額 会費：会費相当額（上限5,000円） その他（見舞い等）：実支出額の2分の1の額（上限額5,000円）</p>				
経過	<p>昭和63年度 事業開始 平成4年度 支出対象の拡大（関係団体の役員の家族を対象に追加） 平成13年度 支出基準の見直し 平成15年度 対象範囲の見直し 平成19年度 対象者の見直し、支出金額の見直し</p>				
必要性	区政運営に密接に関係のある各種団体との関係強化や連携の円滑化を図るため、必要である。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>毎月10日までに表意者から提出される報告書について、儀礼交際用経費支出基準に照らし、基準に合致した場合のみ支払を決定する。</p>				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
		予算額	808	1,042	800	1,104	1,042	1,705
	決算額（19年度は見込み）	802	1,042	697	772	894	1,482	1,500
	人件費				862	1,281	964	
	【事務分担量】（%）				10	15	22	
	合計（+）	802	1,042	697	1,634	2,175	2,446	1,500
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	802	1,042	697	1,634	2,175	2,446	1,500
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	件数	322	375	256	300	343	489	119
	一件あたり平均額（単位：円）	2,494	2,778	2,724	2,574	2,607	3,031	3,487

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	儀礼交際用経費	894	儀礼交際用経費	1,482	儀礼交際用経費	1,500

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	儀礼交際用経費表意件数	300	343	489	119 <small>6月現在</small>		

（問題点・課題）	区として、各種団体等との円滑な関係を築くため、引き続き制度を維持していく必要があるが、支出対象等について、随時適切な見直しをしていく必要がある。
他区の実況	（ 実施 14 区 未実施 8 区 ）

問題点・課題の改善策検討		
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	報告書の厳格なチェックによる適正な補助	基準に合致した適正な制度の運営
	必要に応じた基準（補助対象等）の見直し	表意者の負担軽減と区の支出経費とのバランスの確保

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	適宜見直しを図りつつ、適正に運営していく

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	議員待遇者会補助	部課名 担当者名	総務企画部総務企画課 中野	課長名 内線	五味 智子 2211
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	議員待遇者補助(02-35-48-01)				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	55 年度	根拠	荒川区議会議員待遇者会に対する補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	区議会議員として8年以上在職した議員経験者で組織し、区政に関する調査研究や定期的な区との情報交換、区政に関する提言、助言等を行っている区議会議員待遇者会の活動に対して補助を行うことにより、同会の活動を充実させることを目的とする。				
対象者等	区議会議員待遇者会				
内容	<p>区議会議員待遇者会が実施する事業に要する経費の一部（区議会議員待遇者会が実施する事業に要する経費のうち、管理運営に必要な総会費、連合会費、区政振興費、視察費（日帰り視察に限る。）及び事務費）を補助する。</p> <p>区議会議員待遇者会から、平成19年度以降の補助金を辞退する旨の意思表示があったため、平成19年度以降補助は行わないが、区と区議会議員待遇者会との情報交換の場は引き続き設ける。</p>				
経過	昭和55年 荒川区議会議員待遇者会に対する補助金交付要綱制定				
必要性	区政に関する豊富な経験と知識を有する者で組織された団体であり、区との情報交換を通じて区政への提言、助言等を行うなど、区政運営に寄与している。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額	618	593	570	548	548	400	0
	決算額（20年度は見込み）	386	519	560	352	244	0	0
	人件費				259	171	0	
	【事務分担当】（%）				3	2	0	
	合計（+）	386	519	560	611	415	0	0
	国（特定財源）							
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	386	519	560	611	415	0	0	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	区との情報交換の実施回数	4回	5回	4回	4回	4回	0回	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		負担金	議員待遇者会補助金	244	議員待遇者会補助金	0	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	区との情報交換会の実施回数	4回	4回	0回	0回	0回	平成19年度に補助制度を廃止

（問題点・課題）	<p>他自治体の元議員会に対する補助金違法判決を受け、他のすべての区で制度の見直しが図られた。本区の区議会議員待遇者会は、これまでしっかりとした活動を行ってきており、今なお補助制度の意義はあるものとするが、区議会議員待遇者会自らが補助金を辞退する旨の決定を行ったこともあり、補助制度を廃止する。</p>
他区の実況	（実施 0 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	見直し	区との情報交換を通じて区政への提言を行うなど、区議会議員待遇者会の活動はなお意義あるものと考えているが、平成19年度に補助金を辞退する旨の意思表示があったため、補助制度を廃止した。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	区長交際費	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	幸野佳紀	内線	2004
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	区長交際費（05-13-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	23年度	根拠	区長交際費の内訳及び支出基準
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	交際費は、区長が行政執行上、あるいは区を代表し、外部との交渉、交際をするために要する経費として支出する。				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・区関係団体が主催する総会、新年会、懇親会の会費 ・区功労者表彰受賞者など区の発展に功労顕著であった方をはじめ区の事務事業執行上密接に関わるの方々に対しての慶弔費（祝金、生花料、香典、お見舞い） ・交流都市等で実施されるまつり等への祝金 				
内容	<p><交際費の内訳及び支出基準></p> <p>（1）交際費の内訳は、慶弔費、会費、お見舞いからなる。</p> <p>（2）交際費は、支出基準に基づき支出している。</p> <p>平成16年12月支出分から（西川区長就任時から）、ホームページ上で公開をしている。</p>				
経過	昭和23年度 平成元年度 平成14年度 平成17年度	交際費を計上 支払い方法の変更 情報公開基準を設定する （病気見舞い等プライバシーに配慮が必要な場合は相手方の氏名等を非公開とするが、それ以外は原則として公開） 交際費支出基準についてホームページで公開（平成16年12月支出分から公開）			
必要性	区長が行政執行上、あるいは区の利益のために区を代表し、外部と交渉、交際するために必要である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 交際費の性格からして、一般的には、区長が職務執行上、必要な場合に限り使用するものであること、また、住民の関心の高い経費であることから、執行の範囲及び額については、必要最小限度にとどめるとともに、予算額についても他の団体の予算額等も参考とし、適正な額を計上する必要がある。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	3,951	3,951	3,951	3,951	3,951	3,951	3,951	
決算額（20年度は見込み）	3,411	3,222	2,699	2,642	2,903	2,848	3,161	
人件費				431	427	427		
【事務分担量】（%）				5	5	5		
合計（+）	3,411	3,222	2,699	3,073	3,330	3,275	3,161	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	3,411	3,222	2,699	3,073	3,330	3,275	3,161	
実績の推移	事項名							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
慶弔費	1,218	1,393	1,374	1,145	1,341	1,263		
会費	2,083	1,737	1,295	1,465	1,471	1,540		
お見舞い	11	93	30	30	90	46		
接待費	0	0	0	0	0	0		

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	交際費	交際費	2,903	交際費	2,848	交際費	3,161

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標							

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容
	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	区長が行政執行上、あるいは区を代表し、外部と交渉、交際をするために必要な経費であり、今後とも適正な執行に努める。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	副区長交際費	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	幸野佳紀	内線	2004
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	副区長交際費（05-13-70-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	15年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	交際費は、副区長が行政執行上、あるいは区長の補佐役として、外部と交渉するために要する経費として支出する。				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体が主催する総会、新年会、懇親会の会費 ・区功労者表彰受賞者など区の発展に功労顕著であった方をはじめ区の事務事業執行上密接に関わる方々に対しての慶弔費（祝金、生花料、香典、お見舞い） 				
内容	<p><交際費の内訳及び支出基準></p> <p>（1）交際費の内訳は、慶弔費、会費、お見舞いからなる。</p> <p>（2）交際費は、支出基準に基づき支出している。</p>				
経過	平成15年度 助役交際費を計上 平成19年度 副区長交際費へ名称変更、副区長2人体制となる				
必要性	区長を補佐し、行政執行上、あるいは区の利益のために区を代表し、外部と交渉するために必要である。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 交際費の性格からして、一般的には、職務執行上、必要な場合に限り使用するものであること、また、住民の関心の高い経費であることから、執行の範囲及び額については、必要最小限度にとどめるとともに、予算額についても他の団体の予算額等も参考とし、適正な額を計上する必要がある。				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額		500	500	500	500	500	1,000	
決算額（20年度は見込み）		267	25	189	498	619	800	
人件費				431	427	427		
【事務分担量】（%）				5	5	5		
合計（+）	0	267	25	620	925	1,046	800	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	0	267	25	620	925	1,046	800	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	慶弔費		50	0	35	135	135	
	会費		187	25	154	332	464	
	お見舞い		30	0	0	30	20	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	交際費	交際費	498	交差費	619	交際費	1,000

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値（22年度）	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
	平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	行政執行上、あるいは区長を補佐し外部と交渉をするために必要な経費であり、今後とも適正な執行に努める。

況（要旨）	
-------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	収入役交際費	部課名	収入役室	課長名	小野 雅司
		担当者名	荒木 美幸	内線	3 2 2 5
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	交際費（03-69-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	15年度	根拠	収入役交際費の支出基準
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	収入役が職務上特に必要な交際をするために要する経費を計上する。				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間専門家及び関係団体等が主催する、総会及び懇談会等の会費 ・ 職務執行上関わる方々に対する慶弔費（祝金、生花料、香典、お見舞い） 				
内容	<p>[支出基準] 収入役が金融機関、民間専門家及び関係団体等と職務上特に必要な交際をするために要する経費である。</p> <p>[支出項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 慶弔費 2 会費 3 接待費 4 見舞 				
経過	平成15年度 収入役交際費を計上（200,000円）				
必要性	区政の円滑な運営に資するため、必要性は高い。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 交際費は収入役が職務執行上必要な場合に限り使用するものであり、執行の範囲及び額については、支出基準に基づき、必要最小限にとどめる。				

		（単位：千円）						
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算・決算額等の推移	予算額	/	200	200	200	200	200	200
	決算額（20年度は見込み）	/	198	198	191	181	200	200
	人件費	/	/	/	862	1,025	854	/
	【事務分担当】（%）	/	/	/	10	12	10	/
	合計（+）	0	198	198	1,053	1,206	1,054	200
	国（特定財源）	/	/	/	/	/	/	/
	都（特定財源）	/	/	/	/	/	/	/
その他（特定財源）	/	/	/	/	/	/	/	
一般財源	0	198	198	1,053	1,206	1,054	200	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	交際費支出総件数	/	22件	24件	23件	23件	26件	24件
	慶弔費支出件数	/	9件	6件	9件	11件	11件	9件
	総会等の会費支出件数	/	13件	18件	14件	11件	14件	14件
	見舞金支出件数	/	/	/	/	1件	1件	1件

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
交際費	御香典	75	御香典	75	交際費	200	
	会費・参加費	76	会費・参加費	115			
	御祝金	20	御祝金	0			
	御見舞金	10	御見舞金	10			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	慶弔費支出件数	9件	11件	11件	9件	-	収入役が職務上特に必要な交際をするために要する経費を計上する。
	総会等の会費支出件数	14件	11件	14件	14件	-	同上
	見舞金支出件数	/	1件	1件	1件	-	同上

（問題点・課題）	<p>交際費の性質上、支出用途を更に精査し、社会通念上、表意の相手方に失礼のない範囲でかつ必要最低限の支出をするよう、適正な執行に努める。</p>
他区の実況	（ 実施 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
支出用途を更に精査し、社会通念上、表意の相手方に失礼のない範囲でかつ必要最低限の支出をする。	適正な執行となる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	区政の円滑な運営に資するため、必要性は高い。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	教育委員会交際費	部課名	教育委員会事務局庶務課	課長名	谷嶋 弘						
		担当者名	嶋林 ルミ子	内線	3312						
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	教育委員会交際費（37-12-50-01）										
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業	それ以外の継続事業							
開始年度	昭和	平成	27年度	根拠	区長交際費の内訳及び支出基準（総務部総務課制定）に準ずる						
終期設定	有	無	年度	法令等							
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分						
	分野	計画推進のために[]									
行政評価事業体系	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]									
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]									
目的	教育委員会が教育行政の円滑な運営を行うため、区以外の者、団体と交渉するための経費										
対象者等	教育長、教育委員会として支出										
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・内訳は下記のとおり <ul style="list-style-type: none"> 慶弔費（教育関係団体役員や教育行政に密接に関係する個人に対する叙勲・表彰祝い、香典等） 会費（教育関係団体が主催する総会、新年会、忘年会、懇親会等） 接待費（区内・区外からの教育委員会の接待に係る経費） 購読料（教育関係紙の購読に係る経費） 見舞（教育関係団体役員や教育行政に密接に関係する個人に対する病気見舞い等の経費） ・社会通念上、妥当と思われる範囲において支出する。 										
経過	平成11年4月15日 区長交際費の内訳及び支出基準制定（総務部総務課）										
		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	予算額（千円）	780	702	667	634	634	634	634	634	634	634
	対前年度増減（千円）	41	78	35	33	0	0	0	0	0	0
対前年度増減率（％）	5.0	10.0	5.0	5.0	0	0	0	0	0	0	
必要性	教育行政の円滑な運営を行うため必要である。										
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）										

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	634	634	634	634	634	634	634	
決算額（20年度は見込み）	591	617	565	455	590	450	634	
人件費				862	854	427		
【事務分担量】（％）				10	10	5		
合計（+）	591	617	565	1,317	1,444	877	634	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	591	617	565	1,317	1,444	877	634	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	支出内訳（件数）							
	慶弔費	22	13	23	15	18	14	15
	会費	39	54	41	48	43	51	50
	接待費	1	1	1	0	1	3	1
	購読料	0	0	0	0	0	0	0
見舞金	3	1	0	0	3	1	0	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	交際費	決算額		590	決算額	450	予算額
		慶弔費	229	慶弔費	127	慶弔費	127
		会費	220	会費	299	会費	483
		接待費	6	接待費	19	接待費	19
		見舞	135	見舞	5	見舞	5

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
標	慶弔費	23件	15件	14件	14件		
	会費	41件	48件	51件	50件		
	接待費他	1件	0件	3件	1件		

（問題点・課題分析）	区長交際費の基準に準じているが、全庁的に連携し要綱、規則の整備をすることが必要である。
他区の実況	（ 実施 22 区 未実施 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
全庁的に連携し要綱、規則の整備を図る。	全庁的に要綱、規則を整備し、基準を明確にすることにより、支出内容の統一が図られる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	教育委員会としての事務執行上、必要

議会議決要旨	
--------	--